

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6 年 3月 1日

事業所名 運動療育型児童デイ ぼぶらの樹 南住吉

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	物の配置など危険がないようにしてい	規定に基づき行っている。
	2	職員の配置数は適切である	9	0	集団をまとめる役、フォロー役をきめ	規定に基づき行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0	規定に基づき行っている。	段差など改善箇所なし。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0	時間を決めて意識づけしている。	朝礼、終礼は毎日行い、情報共有など話し合っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	ご希望の手段で対応している。	日々の連絡帳にて情報交換を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	事業所内では貼りだしている。	ホームページに掲示を継続。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3	末端まで伝達していくようにしている。	結果を業務改善に繋げていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1	週1回確認行っている	研修、会議と合わせて効率よく行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	様々なシールを使い情報交換している。	書面、送迎時にお話する時間を設けている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	ご希望の手段で対応を検討中。	個々に有効なアセスメントツールを検討中。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	話し合いを行っている	月毎に行事をきめている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	ミーティングで案を出し合っている。	日々、違った活動になるよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	感染対応をしなが	特に長時間の支援の時は外出も設けている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	2	ミーティングで末端まで伝えていく。	パートまで周知し全員で取り組めていくようにしていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	習慣づけて行っている	朝礼、終礼は時間を決めて定着させている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	振り返り内容は記録に残している。	終礼にて振り返りをおこなっている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	一人一人、的確に指示を出している。	記録等は整備し、情報共有を図っている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	3	内容を把握できるように伝えていく	全スタッフに必要な支援を聞き取り反映させていくよう改善していく。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	0	順番に進行役を	全スタッフが出来るように育成する。	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	管理者が出席している。	知りえた情報を共有、支援に活かしていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	お迎えのスタッフが担当している。	学校送迎時に情報の交換、共有を行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	0	受け入れ対応できるように準備している。	必要に応じて指示を受け支援の提供をおこなっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	0	担当者会議に参加したりしている。	受け入れの際は事前に連絡を行い、情報共有して頂いています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	0	体験会等を定期に行っている。	当社にサービスがあるので、都度ご案内を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	3	定期的に研修を開催している。	社員が受けたことをパートまで伝達していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	4	機会があれば計画を立てる。	今後、交流を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9	0	情報共有をこまめにしている。	参加して情報共有を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	いつでも対応できる態勢を作っている。	送迎時や連絡帳にて伝え合っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	4		ロールプレイング等、研修の時間を設けて取り組んでいる。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	2	詳しい者が丁寧にしている。	契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	2	研修等への参加。	保護者からの相談に随時対応し、助言や支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	3	開催できるように準備をしている。	要望があれば、検討もしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	いつでも相談できる態勢を作っている。	苦情マニュアルに基づいて対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	行事がある時はチラシ配布をしている。	毎月、行事ごとにチラシ、お知らせの用紙にて発信している。
	35	個人情報に十分注意している	9	0	鍵付きロッカーに保管している。	写真の公表などには注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	ご希望の連絡対応を行っている。	分かりやすい説明や連絡手段をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	0	緩和されたら検討していく。	地域の行事に参加させてもらっている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0	すぐに見れる所へ保管している。	十分に周知している。書面などにも用いている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	分かりやすく行っている。	年4回、訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	定期的に研修する。	研修会に参加し、全スタッフにも研修を行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	該当者は現時点ではありません。	必要に応じて支援計画書に内容を記載して保護者様の方了承を頂いています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	アレルギー表を作成している。	保護者様を通じて対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	意識しながら支援していく。	日々、記載して共有している。